



koryo 陵 雲 High School

〒031-0011 青森県八戸市田向二丁目2番6号 / 電話 0178-44-3866 / FAX 0178-43-9077
https://koryo-high-school.com / メール koryo@chibagakuen.ac.jp

羽仁もと子誕生150周年



11月9日(木)、学校設定教科・人間学「現代を生きるII」の学習で、3年生が羽仁もと子記念館を訪問。今年、日本初の女性ジャーナリストである羽仁もと子が誕生して150年となることから、各方面で羽仁もと子を紹介している。1月、テーラー東北新聞には誕生150周年について掲載。3、4月は市内の書店でフェアを開催。9月は、羽仁もと子記念館で公開座談会。11月は、八戸市立図書館「誕生150周年記念展」と題し、書籍コーナーが設置された。今月は、八戸ブックセンターにて「羽仁もと子とわがらの研究室」を開催中。こちらは令和6年2月25日(日)まで行われる。

〈記念館を訪れて〉

特に印象に残ったことは二つあります。一つ目は、もと子が着物でさまざまな国に行っている姿です。周りの人たちがスーツを着ているなか、一人で着物を着て堂々としている姿に凛とした強さを感じました。また、もと子が日本だけではなく海外にまで足を運んだ結果、このように全国に友の会が広がる要因になっているのだと思いました。二つ目は、もと子が新聞記者になるまでの過程です。最初から新聞記者になったと思っていました。が、女中や教師として働いていたことがわかりました。いつでも履歴書を持ち歩き、募集が出るたびに提出できるようにしていたこと、校正の仕事をしながら自ら新聞記事を作っていたことなど、積極的に仕事に取り組みうとする姿が凄いなと思いました。記念館には、家計簿のこと、生活をよりよくするための行動が記されており、もと子の時代から現代に至るまで変わらず伝えられているのは、誇らしいと思いました。

〈強い意志〉

3年 佐々木 俐玖(三戸中学校出身)
今回、羽仁もと子記念館を訪問して感じたことが二つあります。一つ目は、羽仁もと子さんは想像以上に凄いなということ。当時は今よりも酷い差別があったはずなのに、女性初の新聞記者となり、女性の道を作ってくれたことに感謝している人が大勢いることを知りました。二つ目は、羽仁もと子さんの後援会のようなものが存在していたことです。記念館で働いていた方は、それに所属して、もと子さんをずっと世に知らしめたいという人たちの集まりでした。たくさんのお書物や写真などがあり、とても慕われていることがわかりました。亡くなっておお、尊敬され、世に広められている羽仁もと子さんに倣って、私も何か一つでも頑張ることを見つけたいです。強い意志を持ち続けて、取り組んでいきたいと思いました。

〈強く気高く〉

3年 水無 茉校(階上中学校出身)
羽仁もと子記念館で、もと子さんの生い立ちのビデオや、当時の婦人之友の資料を見ました。人間学の授業で、あらかじめ学んでいました。実際に資料を見ると、知らないことが多かったで

す。たくさん資料の中で特に印象に残っているのが、戦争当時の婦人之友の現物でした。目を引いたのは、「空襲下の食生活」や「戦闘帽の作り方」という見出しです。どんな状況でも記事を作り発信し続けていたことに驚くと同時に強い人だと感じました。また、記念館の壁にもと子さんの言葉がいくつかが飾られており、その中の「よいことは必ずできる」という言葉に心惹かれました。この言葉やビデオの中からもと子さんが積み上げてきたものや、家庭をとて大切にしていたことが伝わってきました。



縄文俳句入賞

第8回は川縄文の里俳句大会において、松橋峻さん(2年・根城中学校出身)が、中・高校生部門で5位入賞を果たした。松橋さんの作品には、選者の一人佐々木雅翔さんが天位(1位)をつけている。

中・高校生の部は10校196句の応募があった。松橋さんは、11月19日(日)に是川縄文館で行われた表彰式に出席し賞状と記念品を授与された。松橋さんは、「是川と言え、合掌土偶だと思ったので、土偶の持つ意味も考えながら作成しました。入賞したと聞いて嬉しかったです」と笑顔を見せた。

【八戸縄文保存協会賞】(第5位)
十五夜に子宝願う合掌土偶

万引き防止標語

八戸警察署が募集している万引き防止標語に応募した石岡真衣さん(3年・小中野中学校出身)が優秀賞を獲得した。今回の応募状況は、小・中・高合わせて35校合計370点だった。うち高校生の部は5校61点の標語が集まったという。

進路決定に向けて

12月4日(月)、3年生から1年生に進路のアドバイスを行った。大学、専門学校への進学、就職が決まった3人が1年生の前に立った。どうやって進路を選択したか、進路を決定するまでの苦労などを質問形式で話していった。また、宮古さんは、「3年間はあっという間なので、高校生活を存分に楽しんで下さい」と実感のこもった想いを伝えた。1年生たちは、「先輩の話聞いて進路の準備を計画的に進めることが大事だと思いました」「日頃の学校生活を大事にしなければならぬ」と感じました」と感想を述べた。

【大学へ進学】 山家 昌悟(平塚市立平塚中学校出身)
自分の学力に合う学校選び、受験内容や各大学で学べることを中心に学校調べをしたり、早めの準備が大事です。3年生になってから焦らないように、精神的にも時間的にも余裕を持って取り組むことがおすすめです。

【専門学校へ進学】 宮古 理人(湊中学校出身)
志望動機や作文を何回も書き直したり、願書を書くのに苦労しました。普段から丁寧に字を書くように意識して欲しいと思います。また、面接練習や書類点検など先生方にたくさん指導してもらったので、ぎりぎりにならないよう早めの取り組みが大事です。

【市内へ就職】 西村 栄太(小中野中学校出身)
就職試験に作文があったので何度も添削してもらいました。また、私は勉強が苦手なので、各教科の提出物は期限を守って出すということと学校を休まないということを心がけました。就職先では、無欠席という点を評価してもらえたと思っています。私は、自分で考えたりして作業することより、与えられた作業をコツコツやるのが得意なので、製造職を選びました。自分の性質に合った職業選びをする

ことが大事だと思います。



調理実習

12月8日(金)、1年生の調理実習が行われた。メニューは回鍋肉(ホイコーロー)、卵スープ、納豆(牛乳かん)の3品。下宿生活をしている渡邊一輝さん(横浜市立山中学校出身)は、「久しぶりの調理でした。男子だけの班でしたが、盛り付けにも工夫をして楽しく美味しくできました」と感想を述べた。



漢字検定

- 準2級
 - 1年 小田 紗織(江陽中学校出身)
 - 2年 櫻庭 琥珀(第二中学校出身)
- 3級
 - 2年 山本 真央(下長中学校出身)
 - 1年 柄本 百絵(第三中学校出身)
 - 1年 八田 真斗(白山台中学校出身)
 - 1年 河原木唯申(白山台中学校出身)
 - 1年 清水 菜名(白銀中学校出身)
 - 2年 成田 葉純(東中学校出身)
 - 2年 板橋 宙(長者中学校出身)
 - 3年 加藤 一吹(東中学校出身)

読書感想文結果

- 夏休みの課題だった読書感想文の結果が発表された。
- 最優秀賞
 - 3年 石岡 真衣(小中野中学校出身)
 - 優秀賞
 - 2年 山田 梅禾(明治中学校出身)
 - 1年 田中 琴花(白山台中学校出身)
 - 努力賞
 - 3年 高清水里桜(南浜中学校出身)
 - 平田 文明(北稜中学校出身)
 - 前田 七海(第三中学校出身)
 - 2年 板橋 宙(長者中学校出身)
 - 佐藤 翔聖(第一中学校出身)
 - 林 玲音(兼倉市立大船中学校出身)
 - 三浦 未有(是川中学校出身)
 - 1年 金谷 水樹(第一中学校出身)
 - 高橋 愛子(第三中学校出身)
 - 本田 彩音(白山台中学校出身)

修学旅行

12月9日(土)から13日(水)まで4泊5日の日程で、2年生が修学旅行(沖繩・大阪)に行ってきた。出発日の9日(土)は、17度と八戸の12月にしては暖かい日となった。沖繩は、初日から真夏日とすべて天候に恵まれた。4日目は、大阪へ移動しユニバーサルスタジオジャパンを満喫した。期間中、インフルエンザに罹患する者も出たが、13日(水)までに全員帰八した。

9日(土) 中村 陽征(白山台中学校出身)



最初に、八戸駅で点呼をしながら旅が始まるのかと思いきや、ワクワクした。その後、新幹線に乗

り移動、羽田空港へ。荷物を預けたり、初めてのことに慣れなくて、緊張しましたが、飛行機の景色が良すぎてテンションがとて上りました。いよいよ那覇空港に近づくと急な気圧の変化で耳が痛くなりましたが、那覇空港につくと気にならなくなりました。日本でありながら異国情緒漂う沖繩が楽しみです。

10日(日) 板橋 寿弥(下長中学校出身)

美ら海水族館に行きました。一番驚いたのは、ジンベエザメです。私は、魚の中でジンベエザメが一番好きで水族館で会えるのを楽しみにしていました。他にも、エイやチンアナゴなど、あまり見たことのない魚を見まし



た。エイは、最初目が下だと思いましたが、実際は上に目があって勘違いしていたことがわかりました。外にはウミガメもいました。水槽で泳いでいる姿がすごくかわいかったです。昼食後、お土産選びをしました。お土産はどれも少し高かったですが、家族が喜ぶ顔を想像しながら買いました。皆喜んでくれるとうれしいです。今回初めて美ら海水族館に行きましたが、いろいろな魚に出会えてとてもいい思い出になりました。

11日(月) 貝吹 洸之介(明治中学校出身)

平和記念公園に行ってきました。この日は気温27度まで上がり、体調を崩す人も出てきたので、私も気をつけな



から公園内を散策しました。公園は広さが40ヘクタール、首里城公園が8個、東京ドームが8・5個入るほどの広さらしいです。最初にガマをモチーフにしたモニュメントに行きました。そこは本当の避難壕に見えるように中を石灰岩で作ったそうです。実際に上が吹き抜けになって上を見ることが出来ました。その次は、青森県の名前が刻まれた慰霊碑に行くと線香を供え黙祷をしてきました。また、青森の戦没者の名前が刻まれた慰霊碑を見て平和の礎というものも見ました。実際に自分の目で見て沖繩戦の凄惨さ、恐ろしさを知ることが出来ました。見学はしませんでした。摩文仁の丘の参道沿いに32府県の慰霊碑が立てられているとのことでした。そこには50基もの無数の慰霊碑があって、今でも参拝に全国各地から参拝客が絶えないそうです。自分の目で戦争の悲惨さを見るのが出来て、とても貴重な経験になりました。

11日(月) 若林 青空(長者中学校出身)

ひめゆりの塔を見学しました。知ってはいましたが、自分と同じ年の人たちが戦っていたことに衝撃を受けました。班の人とアメリカ軍と日本が戦争している資料を見たり、ビデオを見たりしました。戦争はともかく残酷だと感じました。改めて、戦争は良くないと思っし、世界は平和であって欲しいと心から思いました。

日米両軍は沖繩で住民を巻き込んだ地上戦を繰り広げたり、米軍は日本本土攻略の拠点として沖繩を確保するため圧倒的な物量で攻撃したりしていました。日米の戦死者は20万人以上で、その6割が沖繩県民だったそうです。自分と同じ学生たちも、女子は看護活動、男子は砲撃の中、部隊の物資運びや、



伝令、修復作業など国のためという想いで戦争に参加せざるをえませんでした。今も世界で戦争が絶えません。戦争は、何も生みません。ただただ、平和を願うばかりです。

11日(月) 山田 梅木(明治中学校出身)

旧海軍司令部は、元々、海軍が使っていたところで、当時の状況がそのまま残っていました。壕を見つけたときに出てきた歯ブラシや水筒、ガスマスクの部品、煙管などが置いてありました。また、小学6年生が書いた手作り新聞もあり、「私が発見した遺骨」などと書かれていました。日本軍が真珠湾を攻撃して、アメリカと敵対し、沖繩戦が始まりました。沖繩の人々の家を空襲を受けたくさんの民間人が亡くなりました。軍人として駆り出された人々も、アメリカ軍との戦いでほとんどが亡くなりました。旧海軍司令部は戦争時に軍人などが作戦会議をしたり、情報収集をしたりしていたところなんです。どの部屋も必要最低限の大きさで、寝ていたとされる部屋は4、5畳の間で、そこに何十人と立ったり、壁に寄りかかったりしながら寝ていたとありました。当時の過酷な状況を知ることができました。

11日(月) 菊地 龍聖(常盤岩中学校出身)

おきなわワールドに行きました。おきなわワールドには洞窟があり、洞窟の中に昇龍の鐘という東洋一洞の奥に位置する白金の石柱がありま



した。それはものすごくトゲトゲしていて危ないと思いました。黄金の盃という鍾乳石は、日本最大の大きさだと言われている。この鍾乳石はリムストーンとも呼ばれています。さらに進めば進むほどきれいな水が流れていました。光がとても綺麗で幻想的でした。

12日(火) 三ツ井 諒介(階中学校出身)

ユニバーサルスタジオジャパンでは初めにバックドロップに行きました。運良く後ろに走るバックドロップに乗ることが出来ました。楽しみにしていたパレードは、昼食を食べながら見ました。雨も止み良いタイミングで見学することができました。次にミニオンのハチャメチャライドに乗りました。ミニオンのハチャメチャライドは完成度、人気が高いアトラクションでした。ユニバーサルスタジオジャパンで感じたことは、ガイドさんの優しさです。私が「初めて来ました」と言うとガイドさんは喜んでくれて、初来園用の記念シールをくれました。時折、雨に降られました。修学旅行最終日の思い出を皆でつくることができました。



球技大会

12月19日(火) YSアリーナを会場として球技大会を行った。女子バレーボール決勝は、3年生対決となった。互いに1セットずつ取った後の最終セットは、デュースまでもつれ込む戦いとなった。最後は、3年2組がサーブで崩し、優勝をさらった。試合後、互いに笑顔で健闘を称えながら抱き合う姿は、さすが3年生と思わせる光景だった。男子バスケットボールは、圧倒的な高さを持つ3年2組が1年2組を下し優勝。「先輩は強かった」と言われた。スケートリンクに囲まれたコートでの戦いにも関わらず、寒さを感じさせないプレーで球技大会は無事終了した。

〈男子〉優勝 3年2組
2位 1年2組
3位 3年1組

〈女子〉優勝 3年2組
2位 3年1組
3位 1年1組